長野の林業

令和元年７月10日発行
長野の林業編集委員会

No.354

もくじ

トピックス……………「カラマツを伐って植えて、育てる」……………………………2
「木の学校」の生徒が「木のふるさと」で移動教室………2
地域産メンマづくり講習会を開催しました! ……………………3
「森林の多面的利用に向けて」 ……………………………………3
特集 小海県有林Jークレジットのご紹介 …………………………………………4
林大オープンキャンパスのお知らせ／狩猟免許試験のお知らせ …………5
県森連だより ………………………………………………………………………………6
長野県の木材市況…………………………………………………………………………12

令和元年度ふるさとの森づくり県民の集い（第70回長野県植樹祭）を開催しました

◇大会テーマ　「育てよう　未来の森を　いろどる木」（木曽町立福島小学校　小野空斗さんの作品）
　開催日・場所　●令和元年６月８日（土）
　　　　　　　　●木曽郡木曽町　「御岳ロープウェイ」及び隣接の黒沢御岳国有林
　主　　催　　　●長野県、中部森林管理局、木曽町、（公財）長野県緑の基金、木曽郡緑化推進委員会、木曽森林組合

植樹祭の当日は、「育てよう　未来の森を　いろどる木」の大会のテーマのもと、多くの方々に参加いただきました。

式典の中で、大会テーマの表彰を行い、三岳小学校のみどりの少年団による、緑を守り育てる元気な宣言がありました。その後、同少年団と木曽猟友会の方々により36羽のキジが放鳥され、元気に大空に羽ばたきました。

また、協賛団体から寄贈していただいた桜の苗木を、今回の植樹祭の記念木として広く植えていただくこととし、木曽管内の６町村と、来年の県植樹祭の開催予定地の北信管内の市町村を代表して栄村へ贈呈が行われました。

アトラクションでは、「大桑アルプホルンクラブ」による歓迎演奏に始まり、「御嶽響太鼓」、「木曽踊り保存会」及び「木曽木遣り筏衆」の皆さんによる太鼓や踊りなどを披露していただきました。

さらに昼食時には、地元木曽町三岳出身のＩＧＵＡ（イグア）さんによる歌とトークを行っていただきました。

中京圏の上流域に位置し、森林が93％を占め、国有林の割合が６割と高い特徴を持つ木曽地域では、これまでも民国連携の森林づくりを積極的に推進するとともに、上流域の木曽地域と下流域の中京圏の交流が盛んに行われてきました。

当日は、県内からの参加者に加えて、中京圏から多くの皆さんの参加をいただき、国有林にカラマツ5,600本を植樹していただきました。

本年は、植樹活動の中で、天皇陛下の御即位を記念する植樹を行いました。

これからも県民参加による森林づくりを一層進めるために、地域住民、森林づくりを支援する企業・団体の皆様のご参加・ご協力のもとで、森林づくり活動を行い、緑豊かな住みよい郷土づくりを推進していきます。

来年は、下水内郡栄村で開催予定です。

【森林づくり推進課】

「カラマツを伐って植えて、育てる」

～佐久平総合技術高校の取組～

佐久平総合技術高等学校の演習林は、大径材のカラマツ林が大半を占め、高校生が実習で活用できる森は少なく、主伐による木材の収穫とその更新が長年の課題でした。そこで、生徒が林業就業体験ができる森を造るため、地元の森林組合の協力の下、昨年秋から約60年ぶりにカラマツの主伐と植栽を行ってきました。

伐採・地拵えの森林施業は、南佐久中部森林組合が高性能林業機械のハーベスタやフォワーダを使って伐採作業を行い、作業の合間に生徒が見学する機会を設けました。高性能林業機械の操作方法や重い木材を簡単に伐採し、運搬する姿を目にして、「機械のスムーズな動きがすごい」などの声が聞かれ、林業の機械化された施業に驚き、関心を寄せていました。

この春には、学生自らがカラマツ苗の植栽も行いました。農業科新一年生百二十名を中心に、唐鍬を使って植えましたが、その日の目標は一haある伐採跡地に、三千本のカラマツの苗を植えきること。農業の畑と異なり、灌木の根や石などに阻まれて、なかなか目印の位置に穴が掘れずに苦戦の連続でしたが、生徒同士で声を掛け合い・協力し合いながら作業を行っていました。

これから始まる保育作業も生徒の実習として行います。演習林実習を通じて、様々な経験を積み上げ、学んで欲しいと思います。

【佐久地域振興局】

「木の学校」の生徒が「木のふるさと」で移動教室

～有明西学園in長和町～

有明西学園は、昨年四月に東京ビッグサイトなどの近くに開校した東京都江東区立の小中一貫九年制の義務教育学校で、五階建て校舎の構造や内装に国産材をふんだんに使用した「木の学校」です。古くから木を扱ってきた江東区の「木場」の文化を発信するシンボル的な存在で、昨年度の木材利用優良施設コンクールとウッドデザイン賞の最優秀賞をダブル受賞しました。

この校舎の構造材の一部に、信州カラマツを利用し、長和町の齋藤木材工業㈱で製造された耐火集成材「燃エンウッド」が使用されていることが縁となって、学園と長和町が「有明西学園ふるさとの森づくり推進協定」を本年三月に結びました。江東区と長野県も協力し、町有林での林業体験などを毎年実施していく計画です。

本年五月には、第一回目の移動教室として学園の八年生（中学二年生）と教職員が三日間の日程で来町。今回の取組の発起人である学園の本多健一朗校長先生の「校舎で使われた木のふるさとで、今日からまた未来に向けた一歩を踏み出そう」との宣言を受け、生徒たちは目を輝かせて町有林でのカラマツの植樹や齋藤木材工業㈱の集成材工場の見学などを行いました。

学園の生徒44名が初めての林業体験

羽田町長も生徒と一緒に植樹

丸太から集成材になるまでを熱心に見学

【上田地域振興局】

地域産メンマづくり講習会を開催しました！

六月九日(日)に喬木村氏乗集落センターで、メンマづくり講習会を開催しました。講師に天竜川鵞流峡復活プロジェクトの伊藤氏をお迎えし、会の活動で、竹林整備後の維持管理の一環として行う、若竹の収穫から塩蔵までのメンマづくり体験を行いました。当日は、南信州地域内から県外の方まで約七十名に参加いただき、竹林整備やメンマづくりに興味のある方が大勢いらっしゃる事を痛感しました。

また、七月末には、塩蔵したメンマの味付け講習会を予定しています。

南信州地域では、里山の竹を資源として使いながら里山の整備保全に取り組む方々が増えています。

若竹収穫

皮むき・カット

茹でる

塩蔵

【南信州地域振興局】

「森林の多面的利用に向けて」(池田町大峰高原)

―森林の里親と里山整備利用地域―

当地域では平成二十年から森林の里親促進事業に取り組んでおり、企業二社からの金銭的援助に加え、社員とその家族、地域が一緒に森林整備をしながら交流を深めていることで、森が良くなるとともに人の繋がりも深まってきました。

こうした経過の中、当地は昨年、里山整備利用地域の認定を受けました。その理由は、池田町では「花とハーブの里」のブランド力を活かし「ハーバルヘルスツーリズム」に取り組む中で、森林体験をメニューに加える検討や、信州やまほいくの場として森林を活用しており、認定を受けることで森林税事業の活用により、幅広い森林整備や地域活動が可能となるからです。地域協議会には、森林所有者、自治会、里親企業、森林組合、役場、教育委員会が名を連ね、中でも地域の森林を熟知した森林組合職員が活動の中心で活躍しています。

今年度の里親活動は計五回の計画があり、春の植栽、秋の間伐等の森林整備、森林の仕組みや管理の方法、機械の安全な使い方、木工体験、きのこ栽培など多彩です。その他、保育園の野外活動、「ハーバルヘルスツーリズム」利活用が加わり、様々な主体が参加した森林整備と利用促進が期待されます。

森づくりボランティア隊

やまほいく　森林教室

【北アルプス地域振興局】

小海県有林J・クレジットのご紹介

長野県では、小海県有林の森林整備箇所における二酸化炭素吸収量について、J・クレジット制度の認証を取得し、平成二十四年度から県内外の企業・団体へ販売しています。

クレジットは環境保全や温室効果ガスの削減に取り組む県内外の企業・団体の皆様に御購入いただき、カーボン・オフセット（省エネ活動ではどうしても削減できない二酸化炭素量を、他の場所での排出削減・吸収量でオフセット（埋め合わせ）すること）やCSRに御活用いただいています。

販売収益は県有林整備の貴重な財源となっており、平成二十四年度から三十年度の七年間で約三〇四ヘクタールの整備を行いました。

CO_2固定キャラクター　ECOCO（エココ）

【J・クレジットとは】

J・クレジット制度は、省エネ設備の導入や森林管理などによる温室効果ガスの排出削減・吸収量をクレジットとして国が認証する制度です。認証を受けたクレジットは市場流通性を持ち、自由に取引することができます。

気候変動問題に関する国際的な枠組みとして有名なパリ協定においては、「平均気温の上昇を二度より十分低く保つ」「そのために、二十一世紀後半には、温室効果ガス排出量と（森林などによる）吸収量のバランスをとる」という世界共通の長期目標を掲げています。近年は、企業経営においても、気候変動対策をはじめとする環境対策は必須の項目となっています。こうした気候変動対策の具体的手段のひとつとして、J・クレジット制度やカーボン・オフセットの活用があります。

【県内のクレジットのご紹介】

県内でも、森林整備の資金調達の方法として、また地域づくりの一つの方法として、クレジットを取得している県内団体がありますのでご紹介します。

○木曽町

平成二十七年三月二三日登録　販売数量　三〇六トン‐CO_2

○根羽村森林組合

平成二十八年三月二三日登録　販売数量　二〇六トン‐CO_2

今後も、カーボン・オフセットの取組みがより広がるとともに、J・クレジットの利用が一層進むことを期待しています。また、県のクレジットも引き続き販売していますので、ご利用をお待ちしています。

【県営林係】

【お問い合わせ】
長野県林務部森林づくり推進課
☎026－235－7272

小海県有林Ｊ－クレジット・Ｊ－ＶＥＲの販売状況

（平成31年3月末現在）

（単位：t－CO_2）

販売数量	契約数量	現在販売数量
1，946	1，291	655

販売単価：15，000円＋消費税
販売単位：1t－CO2 単位

長野県林業大学校 オープンキャンパスのお知らせ

~来て・見て・感じて　長野林大を体感~

長野県林業大学校では、左記の日程でオープンキャンパスを開催いたします。施設を見たり、先輩学生から直接話を聞いたりして、林大の魅力を実感してみてください。学生・生徒さんはもちろん、ご家族や付き添いの方も大歓迎です。

ぜひ一度お越しください。

○開催日

第1回　令和元年8月2日(金)

第2回　令和元年8月24日(土)

○時　間

9時30分~11時30分(受付9時より)

11時30分~、寮食の試食や個別相談もあります。(希望者)

○内　容

・学校説明

・THE林大体験(チェンソー体験・山の測量体験・ドローン操作体験)

・校内・寮の見学など。

○申込方法　**【事前申し込みが必要です。】**

ファクシミリ、電子メール、郵便はがき、電話のいずれかの方法で、催日の一週間前までにお申し込み下さい。

参加日、お名前、ご連絡先などが必要となりますので、詳しくは、林大のホームページをご覧ください。

【お問い合せ先】長野県林業大学校
〒397―0002
木曽郡木曽町新開4385―1
電　話　0264・23・2321
FAX　0264・21・1058
E-mail ringyodai@pref.nagano.lg.jp
http://www.pref.nagano.lg.jp/ringyodai/index.html

「令和2年度入学生の募集について」をHPに掲載しております。詳細は「入試情報」をご覧いただくか、上記までお問い合わせください。

第2回・第3回狩猟免許試験 初心者狩猟免許試験講習会のお知らせ

9月、10月に狩猟免許試験を実施します。

また、試験内容に即した初心者狩猟免許試験講習会を開催します。

長野県内に住所があり、狩猟免許を取得したいとお考えの方や、種別の異なる狩猟免許を取得したい方は、受験が必要です。

27年度から「網猟免許」及び「わな猟免許」は、免許取得年齢が引き下げられ、満18歳以上の方から受験可能になりました。

狩猟免許は、趣味としての楽しみのほか、有害鳥獣の捕獲等、地域に貢献する有意義な資格です。

受験・受講を希望される方は、お近くの地域振興局林務課へお申込みください。

○試験及び講習会日程

左の日程表をご確認ください。

○受付期間

第2回試験　令和元年7月29日(月)~8月9日(金)まで

第3回試験　令和元年9月2日(月)~9月13日(金)まで

狩猟免許の種類

免許の種類	使用できる猟具	受験可能年齢
網猟免許	網を使用した狩猟	満18歳以上
わな猟免許	わなを使用した狩猟	満18歳以上
第一種銃猟免許	装薬銃を使用した狩猟	満20歳以上
第二種銃猟免許	空気銃を使用した狩猟	満20歳以上

※ 年齢は受験日当日の年齢

狩猟免許試験日程

区分	年月日	会場
第2回	令和元年9月1日(日)	上田森林センター(上田市)
		飯田合同庁舎
		塩尻市総合文化センター
第3回	令和元年10月1日(火)	県営総合射撃場(辰野町)
		長野合同庁舎

初心者狩猟免許試験講習会日程

区分	年月日	会場
第2回試験受験者対象	令和元年8月23日(金)	木曽合同庁舎
	令和元年8月24日(土)	飯田合同庁舎
		塩尻市総合文化センター
	令和元年8月25日(日)	上小森林センター(上田市)
	令和元年8月26日(月)	大町合同庁舎
第3回試験受験者対象	令和元年9月19日(木)	北信合同庁舎
	令和元年9月24日(火)	県営総合射撃場(辰野町)
		長野合同庁舎

令和元年度 職長安全衛生責任者教育

令和元年6月18～19日の2日間、もくりゅう館（安曇野市）にて、職長・安全衛生責任者教育（主催・長野県森林組合連合会）が開催されました。この研修会は、現場における作業員の安全及び指導・監督能力の向上を目的として開催されています。

研修会は、RSTトレーナーの横山繁樹氏を講師に迎え、職長の役割、指導及び教育の方法に始まり、リスクアセスメントや作業の改善方法、作業手順の定め方、災害発生時における措置、災害事例研究など、2日間で計14時間にわたって行われました。

各単元では、毎回グループワークが行われ、日々の業務の経験を基に、活発な議論が交わされていました。

受講者には、労働安全衛生法で定められた「職長・安全衛生責任者教育カリキュラム」に基づく修了書が交付されます。

グループワークと発表

令和元年度 長野県造林協会通常総会 森林・林業セミナー開催

令和元年6月26日、長野県JAビル（長野市）で長野県造林協会通常総会及び森林・林業セミナーが開催されました

本協会は80の会員（61市町村、15森林組合、4県域団体）によって構成され、森林の健全な育成に寄与することなどを目的に活動しています。

総会ではまず、平成30年度の業務報告が行われました。近年、製材技術の向上を背景に、木材の活用用途が広がる中、長野県造林協会では、大規模木質構造建築物への活用や、木質化した空間の人間への心的負担軽減効果等についてセミナーを開催したほか、獣害と松くい被害の現状や防除対策に関する研修会を開催しました。また、新たな森林管理システムの推進等林業施策について国会議員への要請活動を行いました。本年度も引き続き、各方面に森林の大切さと林業の役割の重要性を認識していただけるよう活動を推進してまいります。その後議事が執り行われ、議案についてそれぞれ審議の上、原案通り承認されました。

総会後の森林・林業セミナーでは、信州大学農学部助教の三木敦朗氏を講師に迎え、「地域の森林を豊かにするために～新たな森林管理システムの本格始動を受けて～」と題して講演をいただきました。

講演では、森林経営管理制度及び森林環境譲与税の可能性と、活用する上での課題や留意点にはじまり、佐久穂町の小中学校における森林教育の事例などに触れながら、主伐の時代を迎え、所有者をはじめとした多くの一般市民に森林・林業への関心を持っていただくチャンスであるといったお話がありました。また、多種多様な森林を有する長野県においては、多様性に富んだ森林管理が求められるといった提言がありました。

本年度から新たな森林管理システムがスタートし、市町村や森林組合をはじめとした林業事業体の役割が期待される中で、示唆に富んだセミナーとなりました。

三木氏による講演

暑中お見舞い申し上げます

一般社団法人
長野県林業センター
理事長 藤原忠彦
副理事長 宮崎正毅
副理事長 水本　豪
常務理事 宮　宣敏

長野県森林組合連合会
会長 藤原忠彦
副会長 林　和弘
専務理事 髙田幸生

長野県木材協同組合連合会
理事長 宮崎正毅
副理事長 佐原良彦
副理事長 都築　透
副理事長 小林基英
副理事長 麦島照幸
副理事長 宮野尾　宏
専務理事 小島和夫
事務局長 松本寿弘

一般財団法人
長野県林業労働財団
長野県林業労働力確保支援センター
理事長 山口勝也
役職員一同

長野県林業団体協議会
会長 髙田幸生
副会長 藤原忠彦
副会長 宮崎正毅
副会長 水本　豪

林業・木材製造業労働災害防止協会
長野県支部
支部長 宮崎正毅
副支部長 髙田幸生
専務理事 小島和夫
事務局長 阿部勝彦

信州木材認証製品センター
理事長 宮崎正毅
副理事長 齋藤　廣
副理事長 髙田幸生
専務理事 小島和夫
事務局長 松本寿弘

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター
長野水源林整備事務所
所長 春原武志
長野県水源林造林協議会
会長 白鳥　孝

長野県治山林道協会
会長 羽田健一郎
役職員一同

長野国有林森林整備協会
会長 花見隆夫
副会長 林　和弘
専務理事 酒井省三
長野市稲葉母袋沖六一二一―二
TEL（〇二六）二八五―九〇七〇
FAX（〇二六）二八五―九〇七一

長野県山林種苗協同組合
理事長 冨澤修一
組合員一同

一般社団法人
〝森林・林業の総合アドバイザー〟
長野県林業コンサルタント協会
理事長 羽田健一郎

長野県林業薬剤防除協会
会長 牧　司

南佐久北部森林組合
代表理事組合長 佐々木　勝

南佐久中部森林組合
代表理事組合長 黒澤和夫

レストラン 四季の味 樹木里
南佐久南部森林組合
代表理事組合長 藤原忠彦

緑を育て山を守る
佐久森林組合
代表理事組合長 山岸喜昭
役職員一同

緑の担い手
信州上小森林組合
代表理事組合長 倉沢明人
役職員一同

農林中央金庫
関東業務部
部長 竹渕晶代

暑中お見舞い申し上げます

長野県造林協会
会長 藤原忠彦

長野県森林組合長会
会長 林和弘

一般社団法人
長野県林業普及協会
会長 林和弘

長野県林業経営者協会
会長 神戸直日

長野県特用林産振興会
会長 林和弘

長野県林業研究グループ連絡協議会
会長 田中忠

長野県林業士会
会長 飯森幸彦

長野県生産森林組合等団体有林連絡協議会
会長 鮎澤光昭

佐久森林林業振興会
役職員一同

上小林業振興会
会長 羽田健一郎
役職員一同

諏訪地域森林（もり）づくり・林業振興会
役職員一同

下伊那山林協会
役職員一同

木曽山林協会
会長 貴舟豊
役職員一同

諏訪森林組合
代表理事組合長 藤森良隆
役職員一同

もりもり上伊那
上伊那森林組合
代表理事組合長 白鳥孝
役職員一同

飯伊森林組合
代表理事組合長 林和弘
役職員一同

信州根羽すぎ・根羽ひのき
根羽村森林組合
代表理事組合長 大久保憲一
役職員一同
☎下伊那郡根羽村四〇七一—一〇
（〇二六五）四九—二一二〇

松本地域森林林業振興会
役職員一同

南佐久木材協同組合
理事長 笹崎千城
組合員一同
長野県佐久市田口一〇八二番地
TEL（〇二六七）八二—三〇一四
FAX（〇二六七）八二—九八〇五

北佐久木材協同組合
理事長 新井藤弘
組合員一同
事務所
小諸市大字平原四ツ谷原九六七—七
☎（〇二六七）二二—二二一〇
FAX（〃）二四—〇六八三

暑中お見舞い申し上げます

上小木材協同組合
理事長　小林基英
組合員一同
事務所　上田市芳田一八一八―一
☎（〇二六八）三五―一四〇〇

東信素材生産事業協同組合
代表理事　星野勝好
組合員一同
小諸市大字平原字四ツ谷原九九五―一
☎（〇二六七）二二―五〇四五
FAX（〃）二二―五〇三二

南安曇木材協同組合
理事長　佐原良彦
安曇野市豊科四九三二―三九
㈱佐原建設内
☎（〇二六三）七二―二一〇〇

飯伊木材協同組合
理事長　松下勝彦
事務局　飯田市常盤町三〇
☎（〇二六五）三三―三三六一

北信木材生産センター協同組合
代表理事　竹下元治
長野市大字穂保字中ノ配三四二

木材製材販売・住宅資材販売
瑞穂木材株式会社
代表取締役　宮崎正毅
下高井郡木島平村大字穂高三三二八―一
☎（〇二六九）八二―三一一八
FAX（〃）八二―四一五六

宮澤木材産業株式会社
代表取締役　宮澤遥
長野市中曽根二一八八―五
☎（〇二六）二三九―〇五八八㈹
FAX（〃）二三九―三八八〇
環境事業部
☎（〇二六）二三九―三二六〇
FAX（〃）二三九―三二五二

齋藤木材工業株式会社
代表取締役社長　齋藤健
〒386-0603
長野県小県郡長和町古町四二九四
TEL（〇二六八）六八―三五三五
FAX（〇二六八）六八―〇二〇二

木材、建材、住器、サッシ販売
プレカット（構造、羽柄）、住宅用パネル
株式会社マルオカ
代表取締役社長　岡健一郎
長野市吉田五―二五―七
☎（〇二六）二四三―一二二八

南木曽町森林組合
代表理事組合長　藤原和年
役職員一同

株式会社
吉本
代表取締役　由井正隆
南佐久郡佐久穂町大字平林一二一
☎（〇二六七）八六―四三〇五
FAX（〃）八六―五五四四

日本林業土木㈱長野出張所
所長　竹内正比古
出張所
長野市岡田町三〇―一六
長野県林業センタービル内
☎（〇二六）二二七―六一八五

みどり産業株式会社
代表取締役社長　洞和雄
本社／長野市大字稲葉二四一三―三長野林友ビル
☎（〇二六）二二四―八七〇八
FAX（〇二六）二二三―七九八九

一般社団法人
日本森林技術協会
長野事務所　所長　井上康
長野市中御所岡田町三〇―一六
☎（〇二六）二二七―二六六〇

建設コンサルタント
（森林整備・治山・林道・環境事業等森林の総合調査設計）
CFEC
株式会社**中部森林技術コンサルタンツ**
長野支店
支店長　長谷川洋
長野市稲葉中千田沖二〇四〇―二
☎（〇二六）二二四―八七一〇

信州の木認証合板で
地産地消の緑の循環

HAYASHI
針葉樹合板のパイオニア
林ベニヤ産業株式会社

（本　社）06-6228-1401
（北陸営業所）0767-52-4376

国内産ヒノキ間伐材使用
高圧木毛セメント板製造・販売

タケムラ
竹村工業株式会社
下伊那郡松川町上片桐4604
TEL 0265-36-6111
FAX 0265-36-6555
info@takemura.co.jp

株式会社飯田綜合木材センター
代表取締役　松下勝彦
長野県飯田市鼎切石四三六七番地
TEL（〇二六五）二三―二一七七
FAX（〇二六五）二三―二五六七

暑中お見舞い申し上げます

松本広域森林組合
代表理事 組合長 吉田満男
役職員一同

長野森林組合
代表理事 組合長 酒井美明
役職員一同

北信州森林組合
代表理事 組合長 中山稿一
役職員一同

栄村森林組合
代表理事 組合長 桑原重雄
役職員一同

長野県森連指定
林業機械化協会会員
チェンソー・刈払機・集材機
ワイヤロープ・林業機械器具
有限会社 ガモウ商会
代表取締役 蒲生浩明
松本市波田中波田五一八一―一
☎(〇二六三)九二―二四六八

立木買取り・生産販売・支障木処理
特殊材注文販売・産業廃棄物処分業
木材森林整備認定事業体
平澤林産有限会社
代表取締役 平澤照雄
長野県伊那市西春近四一〇五番地
TEL(〇二六五)七八―二二八八
FAX(〇二六五)七六―五七七五

素材生産請負・森林整備
立木買付・生産販売
㊏林
王滝林業有限会社
取締役社長 西路明
木曽郡王滝村四五六三―二
☎(〇二六四)四八―二三六三
FAX(〃)四八―二三八三

有限会社 中島林業
代表取締役 中島武東
佐久市取出町二〇三―七
☎(〇二六七)六二―五七〇〇

グリーンプラマーク取得
松くい虫防除シートは
まつのじょう
地球にやさしい
生分解性プラスチック使用の
くん蒸用被覆シート
信濃化学工業株式会社
〒381-0045
長野県長野市桐原1-2-12
TEL 026-243-1115
FAX 026-243-1520

信州・松本平の豊かな風景をつくる
株式会社 柳沢林業
松本市岡田下岡田七七四―一
☎(〇二六三)八七―五三六一

唐松・杉・桧各種 素材丸太・製材品
組建物・看板・加工一般・施工一式
新型インサイジング
(角材及び円柱可能)
防腐加圧処理(ACQ・その他)
※加圧処理は、長さ16.0mまでできます
ウッドレリーフ製作
大栄産業株式会社
松本市波田二九五一―三七
☎(〇二六三)九二―五〇五一
FAX(〃)九二―五八〇九
ホームページアドレス http://www.daieisgy.co.jp

素材生産事業、森林整備事業
有限会社 髙遠興産
代表取締役 林敏行
〒396-0023
長野県伊那市山寺一五五八―一
☎(〇二六五)七二―五三〇八
FAX(〇二六五)七二―八三〇八

森林整備・素材生産・(産廃)収集運搬業
支障木伐採、処理、薪販売
オガサワラ林業 有限会社
代表取締役 小笠原良一
松本市中山四一三五―四
☎(〇二六三)五八―五九三九

サンドキーパーマット
SN緑化万能マット
カゴ枠・大型カゴ枠・パネルフトン篭
株式会社 酒井工業所
松本市村井町南三丁目一〇番一四号
☎(〇二六三)五八―三二〇〇
FAX(〃)八六―三八八一

林業用薬剤と
グリーンメンテナンス
松くい虫防除・芝地総合管理
非農耕地雑草防除
―緑と土と水を守る―
長野県森連指定業者
長野県林業薬剤防除協会員
株式会社 アグロ信州
AGURO SHINSYU
本　社 ☎0268-23-2135 FAX0268-23-2153
中信営業所 ☎0263-77-8863 FAX0263-77-8893

損害保険代理店・環境事業計画施工・墓石
株式会社 モリレン長野
代表取締役 田中髙德
生産森林組合・集落等の作業従事中 傷害補償制度
おてんま傷害保険
管理下中における傷害のみ補償特約付帯普通傷害保険
長野県長野市中御所岡田町30－16
TEL 026(267)6636 FAX 026(226)2225

かわかみ保育園(川上村産カラマツ)
KEY TEC™
03-5534-3741 http://www.key-tec.co.jp

暑中お見舞い申し上げます

長野森林組合　お中元のご案内

鬼無里の食品工場で製造した、地元・国産原料を使用し、合成化学調味料など不使用の安全・安心な詰合せはいかがですか。

◆お問合せ

長野森林組合　鬼無里事業所
〒381－4301 長野市鬼無里2552番地
TEL：026－256－2233
FAX：026－256－2234

ご飯大好きセット
（他にも各種ございます）

＊直送やのし対応も可能ですので、お気軽にお問合せ下さい。

製品　2019　第52回木材まつり　産地特選優良製品展示即売会

7月27日（土）　セリ　売出し8時50分
（木之霊神社例祭　8時10分）　出品500㎥　保証金10万

原木

国有林土場等活用委託市　7月23日（火）開札 10時30分
坂下事務所 中元謝恩市　7月24日（水）
㊫㊐木曽ひのき（東濃）初出荷記念
荻原事務所　7月30日（火）
入札開札13時
保証金10万

8月の市売りのご案内

本部事務所（製品）	荻原事務所（原木）	坂下事務所（原木）	国有林土場等活用委託販売市売日
特選材市 8月24日(土)	8月27日(火)	8月 6日(火) 8月26日(月)	8月20日(火) 入札物件紹介・入札結果はホームページで掲載 ※本市売は、これまでの木曽地区国有林の公売に代わるものです。

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。

木曽官材市売協同組合
理事長　野村　弘
本部事務所：長野県木曽郡上松町正島町2-45
☎0264-52-2480　FAX0264-52-2324
ホームページアドレス　http://www.kisokan.com
荻原事務所：長野県木曽郡上松町荻原字中島1431-1　☎0264-52-2483(代)　FAX0264-52-4885
やぶ原土場：長野県木曽郡木祖村薮原844-1　☎0264-24-0085(代)　FAX0264-24-0086
坂下事務所：岐阜県中津川市坂下133-1　☎0573-75-3178(代)　FAX0573-75-3172

JForest　木材市場見学ツアー・木工教室など　わくわくがいっぱい待っている♪

今年はドローンで空からも楽しめる♪

山の恵み盛りだくさん！木材市場に遊びにおいでよ♪

『森の恵みふれあい祭り』

日時：2019年8月3日（土）　9:00～14:00
場所：中信木材センター　もくりゅう館
安曇野市三郷温4000 番地　☎0263-77-2347

詳しくはこちらから→

主催：長野県森林組合連合会 中信木材センター／松本広域森林組合　後援：中信森林管理署／長野県 松本地域振興局／安曇野市

長野県の木材市況

第1025回　市況表

（令和元年６月26日実施）

長野県森林組合連合会　伊那木材センター

Tel 0265-72-2684　Fax 0265-76-8759

樹種	長さ（m）	規格	末口（cm）	高値（円/㎥）	中値（円/㎥）	備考
ひのき	3.0	直	14～16	13,500	9,000	直造材でお願いします。
		直	18～22	15,000	10,000	
		直	24～30	15,000	10,000	
	4.0	直	14～16	13,500	9,000	直造材でお願いします。良材に高値。
		直	18～22	18,000	11,000	
		直	24～28	14,000	13,000	
		直	30上	16,200	12,000	
		元	44	25,700		
すぎ	3.0	直	16	10,000	8,000	3m（φ18cm～φ22cm）4m（φ24cm～φ36cm）直材限り需要あり。
	3.0	直	18～22	12,000	8,000	
	4.0	直	18～22	12,000	8,000	
	4.0	直	24～28	13,000	8,500	
	4.0	直	30上	14,000	9,000	
もみ	4.0	直	18上	10,000	7,000	安定的な需要あり。
ひめこまつ	4.0	直	38	20,000	9,000	需要期過ぎ、価格低迷。
くるみ	4.0	直	18上	14,000	12,000	
なら	4.0	込	30上	13,000	9,500	
		込	14～18	12,000	9,000	
くり	2.0	直	56	20,000		
	4.0	直	18～22	23,000	14,000	安定的な需要あり。
からまつ	4.0	込	18上	13,000	10,000	安定的な需要あり。

出品量 1,542㎥　販売量 1,542㎥　落札率 100%　買い方 32社

出品にご協力いただきありがとうございました。
需要期が過ぎたこともあり、針葉樹（ヒノキ）、広葉樹ともに動きが鈍い状態です。特にヒノキに関しては剥皮、日割れ等により価格下げ気味です。からまつ材は価格も安定しており、需要がありますので出品よろしくお願い致します。尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書の提出をお願いします。
（＊安全のため荷下ろし、積込みの際には車止めの使用をよろしくお願いします。）

第1027回　市況表

（令和元年６月25日実施）

長野県森林組合連合会　中信木材センター

Tel 0263-77-2347　Fax 0263-77-2349

樹種	長さ（m）	規格	末口（cm）	高値（円/㎥）	中値（円/㎥）	備考
すぎ	3.0	直	16～18	11,000	9,000	3.0m×16～22cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材してください。
	4.0	直	20～28	13,000	10,000	
		直	30上	15,000	12,000	
ひのき	3.0	直	20上	18,000	13,000	価格安定。
	4.0	直	18～28	19,000	14,000	
	4.0	元	32～40	35,000	20,000	
からまつ	4.0	込	6～13	12,000	8,000	材不足しています。細物5cm～13cm引合い強し。ご出品お願いいたします。
		直	14～18	13,000	10,000	
		直	20上	16,000	12,000	
		曲	14～18	6,000	5,000	
		曲	20～40	13,000	7,000	
あかまつ	4.0	込	26～56	12,000	6,000	需要期過ぎ価格下げ気味。
	5.0～11.0	込	24～34	16,000	8,000	
うるし	4.0	込	12～20	55,000	8,000	入札活発です。ご出品下さい。
くり	4.0～5.0	込	20～44	35,000	13,000	
なら	3.0～4.0	込	18～34	28,000	12,000	
くるみ	4.0	込	20～42	25,000	12,000	
ほお	4.0	込	18～34	23,000	16,000	
さくら	2.0～4.0	込	26～40	28,000	12,000	

出品量 4,247㎥　販売量 3,889㎥　落札率 92%　買い方 30社

天候不順のなか多量出品いただき感謝申し上げます。
今回の市売り、広葉樹を中心に応札も活発で活気ある市売りとなりました。ただケヤキについては今までにない値下がり感がありますので、伐採予定のある方はご相談下さい。
尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。
合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第1059回　市況表

（令和元年６月26日実施）

長野県森林組合連合会　北信木材センター

Tel 026-295-5546　Fax 026-295-5547

樹種	長さ（m）	規格	末口（cm）	高値（円/㎥）	中値（円/㎥）	備考
すぎ	3.0	直	16～18	13,000	9,000	柱材需要あり。直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	11,000	直造材でお願いします。
	4.0	込	8～13	5,500	4,500	需要あり。積極的に出品願います。
		直	14～20	12,500	10,000	需要あり。積極的に出品願います。
		直	22～28	14,000	11,500	需要あり。積極的に出品願います。
		直	30上	18,000	12,000	需要あり。積極的に出品願います。
		曲	14～18	8,000	5,500	需要あり。積極的に出品願います。
		曲	20上	11,000	8,500	需要あり。積極的に出品願います。
からまつ	4.0	込	6～13	11,000	6,000	需要あり。
		直	14～18	12,500	9,000	需要あり。積極的に出品願います。
		直	20上	16,000	14,000	需要あり。積極的に出品願います。
		直	30上	20,000	14,500	需要あり。積極的に出品願います。
		曲	14～18	6,000	5,000	
		曲	20上	14,000	13,500	需要あり。積極的に出品願います。
ひのき	3.0	直	18-22	18,000	15,000	柱材需要あり。直造材でお願いします。
	4.0	直	16～18	17,000	14,000	需要増。出品願います。
		直	20～28	28,000	15,000	需要増。出品願います。
		直	30上	56,000	16,000	問合せ増。出品願います。
		曲	20上	14,500	12,000	
くるみ	4.0		34	15,000		
ほお	2.2		58	20,000		
くり	4.0		24～26	20,000		
とち	4.6		50	30,000		

出品量 7,361㎥　販売量 7,141㎥　落札率 97%　買い方 50社

今回は、梅雨時期ではありますが日差しの強い中、多くのお客様にご来場いただき賑やかな市売りとなりました。
市況としまして、カラマツについては高値で安定しており、今後もこの価格は続く見込みとなっております。スギについては横ばい傾向が続いている状況ですが、良材には高値が見られました。どちらも引き続き、丁寧な造材にてご出品お願い致します。特に、これからの時期の剥皮による測尺の狂いには十分ご注意ください。
広葉樹については、新材でも応札少なく厳しい状況でした。新材といえども価格的には冬場に比べかなり安くなっております。これからの時期はカビや割れ等の欠点が出やすくなりますので、広葉樹全般、極力伐採を控えるようお願い致します。もし伐採される場合には、事前のご相談をお願いします。
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず（合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の）　納品書　の提出をお願いします。

第512回　木材共販市況表

（令和元年６月14日実施）

出品量 1,500㎥・買い方 11社・落札率 95.0%　飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ（m）	規格	末口（cm）	高値 円	平均値 円	平均石値 円	備考
ひのき	2.0	元直	26～36	20,000	10,000	2,800	
	3.0	直	14	12,000	8,000	2,240	
		元直	16	13,000	11,000	3,080	
		込	18～24	20,000	16,000	4,480	
		込	26～28	20,500	16,000	4,480	
		込	30上	25,000	18,500	5,180	
		中込	16～22	15,000	13,000	3,640	
		込	24～28	15,000	13,000	3,640	
		込	30上	18,500	15,500	4,340	
	4.0	元直	16～22	18,500	17,000	4,760	
		元	24～28	28,000	20,000	5,600	
			30上	35,000	30,000	8,400	
		中直	12～14	12,000	8,000	2,240	
		込	16～22	17,500	15,000	4,200	
		込	24～28	17,500	14,000	3,920	
	6.0		18	23,000			
	4.0		12下	360	300		一本単価
すぎ	4.0	込直	16～18	9,500	8,000	2,240	
		込直	20～22	10,500	9,500	2,660	
			24～28	12,500	11,500	3,220	
			30上	13,500	12,000	3,360	
	3.0		18～22	9,000	8,000	2,240	
			24～32	9,500	8,500	2,380	
からまつ	3.0	込	14～22	7,500	5,500	1,540	
	4.0	込	12～14	6,500	5,000	1,400	
		込	16	8,500	6,000	1,680	
		込	18～28	13,000	11,500	3,220	
		直	30上	13,500	12,000	3,360	
		小曲り	14～30	5,000	4,000	1,120	
		直	12下	320	270		一本単価

総　評

ひのき、出荷少なく低調。
すぎ、出荷あるが時期悪く、価格は伸びず。
からまつ引き合いあり、出荷量少ない。価格は横ばい。
時期的に出荷量少なく低調。
引き続き出荷の協力をお願いいたします。

令和元年七月十日発行　長野の林業通巻三五四号
発行　長野の林業編集委員会
事務局　長野市岡田町長野県林業センター内
(一社)長野県林業センター　電話〇二六(二二七)五〇一五　Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp
(一社)長野県林業普及協会　電話〇二六(二二六)五六二〇　Eメール rinfukyo@giga.ocn.ne.jp